

南長岡 MHF-1「石油学会技術進歩賞」と「石油技術協会業績賞」を受賞

平成 14 年 6 月 6 日

帝国石油株式会社

石油公団との共同研究「大深度火山岩貯留層生産性向上技術開発」(平成 9 年～平成 13 年)にて実施した、南長岡 MHF-1 号井における水圧破碎法の成功に関し、社団法人石油学会から本技術が他の大深度かつ対象区間の長い貯留層に対しても適用可能であり応用技術としての価値が高いと認められ、5 月 23 日に「石油学会技術進歩賞」を、さらに石油技術協会からは、本技術は国内エネルギー資源の開発を促進するとともに海外での活用も期待されるという評価を得て、5 月 28 日に「石油技術協会業績賞」を受賞いたしました。

今回の受賞の対象となりました水圧破碎法とは、坑井内に高い水圧を加え、周辺の地層に人工の割れ目を形成することにより、ガスの通り道を形成し生産能力を向上させる技術です。これにより、経済的に困難とされていた地域のガスの採取も可能となり、可採埋蔵量を増加させる事につながることから、画期的な技術として大いに期待されます。

当社における近年の両賞受賞の実績

◆石油学会技術進歩賞：

昭和 50 年度「枯渇ガス田を利用した天然ガスの地下貯蔵」

◆石油技術協会業績賞：

第 35 回（平成 2 年度）「6,000m 級深掘技術の確立に関する貢献」

第 33 回（昭和 63 年度）「石炭質ナノ化石生層序確立による石油探鉱への貢献」

第 29 回（昭和 59 年度）「磐城沖ガス田の開発井掘削に関する貢献」

以上



「石油技術協会業績賞」の楯

「石油学会技術進歩賞」の楯と賞記



